

時は  
SDGs

## 食の安全・フードロス・地産地消 たくさんの期待を載せてはしる

### 労働者協同組合ワーカーズ・コレクティブ トラステッドふーず 設立



トラステッドふーずのメンバー

ワーカーズ・コレクティブを立ち上げました。資金は利用事業所が出資しました。担い手を募集し6名のメンバーが応えてくれました。

さらに、県内の市場に出回らない食材や、大規模流通に向かない食材などを探だし、業務用として使用することでフードロス、地産地消を実践することで、SDGsに貢献しよう、と新規事業を組み立てました。

3月、労働者協同組合として法人格も取得し、4月業務を開始しました。

お弁当、総菜、レストラン、介護事業など食に取り組むワーカーズ・コレクティブは県内に15か所。使う食材は、安全性に配慮した業務用食材を共同で仕入する仕組みを自分たちで作り、生活クラブ・スピリッツ株式会社の協力のもと、安全性の高い食材の供給を行ってきました。

配送は物流企業に委託してきましたが、昨今の働きかた改革、ガソリン等の高騰で配送費用は高いものになり、食材を使用する事業所の経営を圧迫しています。

それでは自分たちが使う食材は「自分たちで運ぼう!」と新しい



### 安心、安全、いいもの運びます

You are what you eat. (あなたはあなたが食べている物でできている) その通りです。

健康に生活をしていくためには、先ずは何を食べるか?という単純な選択を日々繰り返し自身に問いながら理にかなわないものは口に入れないという、生活スタイルが求められます。

時はSDGsの取り組みを求めています。地域の優良な農家さん達が手塩に掛け育てた市場に出られない野菜を食ワーカーズが使うことでフードロス削減に繋がります。

小さな市場規模を対象に生産されているもの、大量生産に向かないものなど、それぞれに商品価値が高いものはどこかにあるはずです。

事業で使えるような食材など「いいもの」を販売する事業にも着手し、食の安全、地産地消を広げていきます。

最初は小さな波も次第に大きな変革をもたらす可能性があります。新しい発想で荒波を悠々と乗り切って行こうではありませんか。

労働者協同組合ワーカーズ・コレクティブトラステッドふーず  
代表 荒木 誠二



written by Seiji.A

幾とせ 時は 流れ  
気が付けば 慢性的 疾患  
日々の暮らしに 追い立てられて  
ただ 欲望のまま食べていた  
そんな ありがちな

every day & night  
僕らと一緒に 変えていこうよ  
安心な 食材 お届けします  
トラステッドふーず

for your health  
トラステッドふーず

大切な あなたへ  
トラステッドふーず  
大切な あなたのために



## 食材の安定供給は事業の生命線

食の安全に取り組むお弁当屋

労働者協同組合ワーカーズ・コレクティブ旬

理事 田邊知子



幼稚園給食

旬は 30 年以上前から、食の安全に配慮したお弁当作りをしてきました。仕出し弁当に加えて、18 年前からさいたま市内の障害者施設での配食事業、さらにご縁が繋がり、さいたま市内 4 園への幼稚園給食事業も大きな柱となっています。そして 2025 年 4 月から、草加市内の高齢者施設での配食、弁当、惣菜事業も始まりました。

### 不可欠な安全性確かな食材

これらの、地域に求められる事業を支える共同仕入れは、私たち食のワーカーズにとって、欠かすことの出来ない大切なものになっています。しかし物流 2024 年問題に直面し、その存続が危ぶまれる事態となりました。

そこで、共同仕入の物流をどのように確保するか、共同仕入を必要としている食のワーカーズで話し合い、出資協力し、新規物流ワーカーズ、トラステッドふーずの立ち上げとなりました。配送のプロから一転し、配送をワーカーズ事業で起こすというのはとても大きな決断でしたが、食の事業を支える生命線として、安定した物流が継続され、信頼関係が確かなものになるよう期待しています。



初めて献立を  
作りました！



農場で実る枝豆

NPO 法人  
「生活介護とさき」  
との連携



上尾市戸崎の地で…  
障害がある人々による野菜作り  
その野菜を食のワーカーズへ

障害がある人々 32 名が通所する生活介護事業所とさきは、上尾市戸崎に 2014 年に設立されました。

障害がある人々に関する法律や制度が大きく変化する中、「とさき」は、障害があっても地域であまりまえに暮らすことを模索してきました。

「ものを育てる喜び」「作る喜び」「役立てる喜び」、3つの喜びをかなえる作業を編み出し、農作業、リサイクル（分別）、毛織製品の作成を行っています。

肥沃な土地を生かし…

戸崎は 1000 年近く、循環型農業がおこなわれてきた地域。「農と福祉の融合」の効果は、社会的にも注目されています。また、農地の遊休化防止や自然環境の保護にも効果を発揮します。「とさき」の利用者の皆さんが手がけた作物は、直売所で販売し、また、施設の給食として活用されているそうです。

この度立ち上がった「トラステッドふーず」の事業は、県内生産者となつがり、農産物の供給などにも着手することが事業の目的の一つになっています。「とさき」の農産物を食のワーカーズに提供していただけることになりました。

そろそろ人参やジャガイモ、玉ねぎなど作付けが始まります。

戸崎の地で障害がある人々が手塩にかけた野菜が、食のワーカーズのもとに届き、それを丁寧に手作りし、地域の人々のお弁当になる…。このような取組をふやし、SDGs に貢献するトラステッドふーずに成長させていきます。



地域の人々とじゃが芋掘り